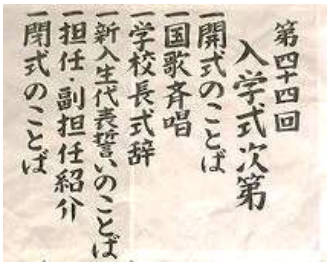
令和２年（2020 年）４月８日
豊中市立第十三中学校 学校だより

Team13

校訓「自主・創造・敬愛」

ホームページ URL　http://www.toyonaka-osa.ed.jp/cms/jh13/

第 44 回入学式


第四十四回
入学式次第
一開式のことば
一国歌斉唱
一学校長式辞
一新入生代表誓いのことば
一担任・副担任紹介
一閉式のことば

４月７日に 44 期生 183 名の皆さんを新しい仲間として迎えました。新型コロナウイルスの厳戒態勢の中で祝辞を省略するなど式次第も簡素化しました。恒例の吹奏楽部の演奏による入場演奏は録音で代用し、校歌の紹介もできません。式辞も短くし、教科書は体育館のイスの上にセットしてお渡しして、式の終了後には教室で担任の先生からのお話しもできませんでした。

それでも、毎年と同じように新入生の不安と期待の入り混じったような表情に初々しさを感じました。しばらく休校期間が続きますが、学校が再開されたら中学校生活をおおいに楽しんでほしい、早くその日が来てほしいと願わざるを得ませんでした。入学式の内容を紹介します。

校長式辞

本日、希望に輝いた表情の皆さんを新入生として迎えられることを大変嬉しく思います。44 期生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

新入生の皆さんに、中学校生活で大切にしてほしいことを３点お話ししたいと思います。それは「つながり」と「学習」と「自立」です。

皆さんは新しい友達と出会うことを楽しみにしていたでしょう。学校は人との良いつながり方を学ぶ場です。良いつながりとはお互いが信頼しあえるつながりです。安心して話せる友達関係や一人ひとりが自分を素直に出せるクラスが皆さんを成長させるのです。学校が再開されたらそんなつながりを作ってください。

次に学習についてです。皆さんの年代の半数以上の人は、AI の発展によって今はない職業に就職することになるだろう、と言われています。これからは「覚える力」だけでなく「考える力」「表現する力」「人とコミュニケーションする力」などを鍛えることが必要です。そのために授業では皆さんにどうしてそう考えたのかと理由を聞いたり、発表したり、といった学習活動もしていきます。

最後に自立についてです。皆さんは小さい時に三輪車に乗っていましたか。幼い頃はいつも見守ってくれる目がありました。自転車に乗るようになったときも初めは後ろを持ってもらったりして練習しましたね。でもそのうち自分一人の力でこいで進みたくなったと思います。一人でこぎ始めたとき、転ぶこともあったでしょうが、転び方を知り、その時の痛みを知ったことも大切な経験だったと思います。そのような経験をとお

して皆さんは自転車に乗れるようになりました。そして他の人が転んでいるところを見てもその痛みを想像できるようになりました。

　自転車のことを人生全体に置き換えて考えると、皆さんはいまどの段階にありますか。何をするにもまだ常に後ろを誰かに持ってもらわないと不安な段階ですか？それともまさに自分でこぎ出そうとしているところですか？転んでも自分で何とかなる、と自信を持って進みつつあるでしょうか？

　中学入学をきっかけに「自分で自分を育てる気持ち」を持ってほしいと思います。勉強、友だち関係、クラブ活動。いろいろな課題が皆さんの前に現れ、自分を育てる場面がでてきます。先生たちは、それを皆さん自身がクリアできるよう全力でサポートします。皆さん自身が苦労した経験やそうして乗り越えたことが自信につながり、最終的には自分ひとりで社会を生きぬくための大きな力となります。中学時代にいろいろな課題から逃げずに正面から立ち向かう姿勢をぜひ身に着けてください。

　保護者の皆さま、本日はお子さまのご入学、まことにおめでとうございます。全教職員、心を一つにして責任を持って本日よりお預かりいたします。どうか三年間、本校の教育活動にご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。
　（中略）
　新入生の皆さん、現在、新型コロナウイルスの拡大により地球全体が大変な課題に直面していますが、人類はこれまでも様々な課題を克服してきました。それは絶え間ない学習と教育が世代を超えて受け継がれ、人類の賢さが蓄積されてきたからなのです。
皆さんも将来社会の一員として世の中に出ていく日がやってきます。よりよい社会を作るためしっかりと力をつける３年間としてください。

新入生　誓いのことば

　柔らかく暖かな風に桜が舞い野山の草木も一斉に芽吹き始めた今日、長いようで短かった６年間の学校生活を終え、新たな一歩を踏み出す時が来ました。今日豊中市立第十三中学校に入学した 183 名は先輩方や他の学校から来た人と良い関係を築けるかという不安と小学校では学ぶことのできなかったことを学ぶことができるという、心躍る気持ちでいっぱいです。そして、他の小学校から来た人と仲良くなって、友達の輪を広げ、十三中での３年間を意味あるものにしたいと思います。中学校という新しい環境で過ごす中で先生方や先輩方のご指導をしっかりと聞き、勉強や部活動に全力を尽くし、悔いの残らないよう思い出に残る３年間にすることを誓います。

PTA 会長様からのご祝辞

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。
皆さんの人生の中で一度しかない門出の日です。
中学校生活を記憶に残るくらい楽しんでくださいね。

私からは『ピンチをチャンスに変える』という言葉を送ります。
目の前で起こっている出来事をどう捉えるかは自分しだいです。
『どうせやるなら！』という気持ちで向き合っていると、

必ず自分にとって成長するタネにすることができます。
これから目の前で起こる出来事を全てチャンスに変えてくださいね。
我々PTA として、しっかりとみなさんのサポートをしていきますので、ご安心ください。

保護者の皆さま、本日は本当におめでとうございます。
このような状況の中でのご入学は不安がたくさんあるとは思いますが、PTA としてもできる最大限のサポートはして参ります。
これから、皆様と一緒に子どもたちを盛り上げていきたいと思いますので、ご協力を宜しくお願い致します。

マスクのご寄付ありがとうございました!!

3月 30 日に文部科学省から発表された「学校再開のための Q&A」にマスク着用が望ましい旨記載がありました。ところが今はどこを探してもマスクを売っているお店はほとんどありません。このような中、**3 年生の白川さんから手作りのマスク 22 枚ものご寄付をいただきました。**1 枚 1 枚は丁寧に袋に入れられ「大切な人の命を守ろう」などの心のこもったメッセージがつけられていました。本当に有難うございます！
学校再開後にマスクのない生徒に渡します。

緊急事態宣言

４月７日夜に安倍総理から緊急事態宣言が出されました。

これに先立つ３日には大阪府から４月８日から5月６日までの休校措置が発表され、その時は登校日を設けるよう示されましたが、この緊急事態宣言によって登校日の設定も難しくなりました。**当面４月 14 日までは登校日もなしで、配布物等もしない**ようにと教育委員会から指示が出ております。１５日以降の動きについては 14 日に改めて連絡メールと学校ホームページでお知らせします。

その後は、１週間ごとに感染の収束状況を見ながら登校日の設定等について指示が出るということになります。新学期、生徒の皆さんは「さあ、やるぞ！」と意気込んでいたと思いますが、出鼻をくじくようなスタートになってしまい心苦しく思います。

休校中の学習について

ニュートンは、ペストの流行による長期休暇中に多くの研究をして成果を上げたそうです。２、３年生には、まだ教科書も配布することができていませんが、Web 上でもたくさんの教材が見られたり、ダウンロードできるようになっています。特に「NHK for School」はコンテンツが充実しており大変興味深い 10 分間クリップや番組が計 9000 ほどあります。**第十三中のホームページに「校外での学びを紹介」という場所**があり、そこを開くと NHK 以外にも楽しく取り組めるたくさんの教材につながるようになっています。ぜひ見てみてください。ただし面白いからとネット中毒には要注意！

誰かが感染症にかかったとしたら

新型コロナウイルスは症状が出なくても感染するため、急速に拡大しています。だから今後、身近な誰かが感染してしまうことは充分に考えられることだと思います。

もし、みなさんの身近な誰かがかかってしまったらどうしますか？
例えばそれが仲の良い友だちなら、、？
あまり知らないクラスメイトだったら？
自分だったら、、、？
家族だったら、、、？

誰一人としてかかりたいと思って感染する人はいません。かかってしまった人もかかっていない人も同じ思いだったのです。違いはウイルスが体の中でたくさん増えてしまったか、ウイルスがたまたま体内に入らなかったか、ということだけです。

かかってしまったからといって、その人は別の人になってしまったわけではありません。だからそんな風にその人を扱わないで下さい。

でも、その人から自分が感染しないようにしないといけません。その人から距離を取り、消毒もしないといけません。これは絶対に必要な事です。

行動はそれまでと変えないといけませんが、その人を見る眼差しが変わることがあってはいけません。この二つのことを混同すると差別につながります。その人の回復を願い、回復すればあなたの行動も元のように戻してください。風邪をひいて治ったときと全く同じことです。

また、もし家族や仲の良い友だちがかかったら、あなたは濃厚接触者で感染しているかもしれません。今度は自分が誰かに感染させないようにする細心の注意が必要です。